

# 軌跡

2024年の歩み



東京農業大学第一高等学校  
東京農業大学第一高等学校中等部



## ■ 中等部

1年生鎌倉

日時：2024年10月30日(水)

中等部1年生は校外学習として鎌倉へ行きました。本格的な座禅の体験や、班別研修を通して、日本の伝統的な文化や歴史を学ぶことができました。

1年生 鎌倉



文学散歩



1年生 鎌倉



本校は、修学旅行や桜花祭(文化祭)などの学校行事だけでなく、教科の実施する校外授業(校外学習)も盛んに行われています。国語科・社会科・理科・保健体育科の各科が毎年工夫を凝らした校外授業を行い、参加した生徒から好評を得ています。ここで紹介するのは、令和六年度に行われた各教科の校外授業の記録です。

## ■ 国語科

第84回 国語科文学散歩

～国際色豊かな港町横浜の文学を訪ねて～  
日時：2024年4月29日(月・祝)

コース  
港の見える丘公園展望台→大仏次郎記念館→  
県立神奈川近代文学館→横浜外人墓地

「鞍馬天狗」で親しまれ、大衆文学と純文学を結びつけた、文化勲章受賞者大仏次郎を中心としてまわる。ベイブリッジが一望できる港の見える丘公園にあって、飾り気のない大仏次郎記念館には彼が生前愛した猫の飾り物がいくつもある。すぐ近くには県立神奈川近代文学館があり、神奈川に縁の深い文学者の作品が展示されている。

第85回 国語科文学散歩

～蕉風俳諧の跡を尋ねて～  
日時：2025年2月11日(火・祝)

コース  
清澄白河駅→深川江戸資料館→芭蕉記念館→  
森下駅

深川江戸資料館  
「深川江戸資料館」は新しく開発された「情景再現、生活再現展示」という展示技術を活用し、期待と話題を集めている展示施設である。ここには最新の科学技術が結集し、なつかしい人情と心意気の世界をくりひろげている。夏には「お化けの棲家」という江戸時代の妖怪をテーマにしたイベントも行われる

芭蕉記念館  
芭蕉書簡、短冊、与謝蕪村筆の芭蕉座像図をはじめ俳諧資料など多数。庭には芭蕉の句に詠まれた草木が植えられ、築山には、芭蕉庵を模したほころと、句碑がある。築山からは隅田川が眺められる。芭蕉稲荷神社には、大津波の後出土した「芭蕉遺愛の石の蛙」がある。



## 第20回桜花祭 2024年9月28日(土) 29日(日)

第20回桜花祭が開催されました。今年度も多くの方に来場していただきました。数か月前から生徒たちはクラスやクラブ、有志ごとに「DASH」のテーマをもとに、展示ブースやパフォーマンスの練習に取り組んできました。どのクラスも創造力を発揮し、さまざまな文化活動を披露する素晴らしい文化祭となりました。



## in 沖縄

- 日 程 2024年7月1日(月)～7月4日(木) 3泊4日  
 集合 7:10 (羽田空港第二ターミナル)  
 帰京 18:10 (羽田空港第二ターミナル)
- 行 程 1日目 平和学習  
 2日目 タクシー研修、民泊  
 3日目 自然・文化体験  
 4日目 那覇市研修

### ■生徒の感想

この修学旅行で最も印象に残っている出来事は民泊である。沖縄の民家に1泊させていただき、地元の空気感や沖縄ならではの文化などに触れて、旅行だけでは得られない経験ができた。私の班は初対面同士の人が多かったけれど、おうちの方と星空を見たり、サーターアンダギーを作る体験をしてとてもいい思い出ができた。1泊しかしていないのにまた戻ってきたくらい安心感があって、また民泊をしてみたいと思った。そして次に印象に残っていることは、自由行動のタクシー研修である。自分たちの行きたいところに行けて充実していたが、特にタクシーの運転手さんがとても親切な方で予定よりもいろいろとところをめぐることができた。みんなで助手席に交代で座り、お話を聞いた時間がとても貴重だった。また途中でスクールにあったときには全員分の傘を濡れながら届けていただいたり、サーターアンダギーを買ってくださり、運転手さんのおかげでより楽しい旅になり、とても感謝している。



## in シンガポール

- 日 程 2024年7月1日(月)～5日(金) 3泊5日  
 集合 8:45 (成田空港第一ターミナル 南ウイング)  
 帰国 8:00 (成田空港第一ターミナル)
- 行 程 1日目 夕刻、チャンギ空港着⇒マレーシア入国  
 2日目 マレーシアにて現地交流  
 3日目 シンガポール施設観光、ナイトサファリ  
 4日目 現地学生との市内観光、帰国

### ■生徒の感想

私がシンガポールに行って特に心に残っていることが3つあります。一つ目は国を出国し、入国する大変さです。以前にも海外旅行に行ったことがあるので、入国審査には慣れていましたが、陸続きの国を渡り、退勤ラッシュと重なったのは初めてだったのでとても緊張しました。2つ目はマレーシアでの交流です。最初はとても緊張しましたが、英語で会話をし、一緒に折り紙をしたり、マレーシア伝統の遊びをし、良い経験になりました。みんなとたくさん笑えたので、言語の壁を超えるってこういうことなんだなと思いました。家庭訪問では伝統衣装を着て手でご飯を食べたのは心に残りました。料理もおいしく、家庭先にいた女の子とも楽しい時間を過ごし、あっという間に家庭訪問の時間が過ぎました。3つ目はシンガポールの自由行動です。とにかく日差しがまぶしくて、とても暑かったのですが、シンガポールの街並みをじっくり見ることができました。お昼ご飯はオフィス街の屋上で食べました。お昼時だったので様々な国の人でにぎわっていました。ご飯もおいしく、シンガポールの多種多様な文化を実際に感じられました。爽りのある時間を過ごすことができたと思います。

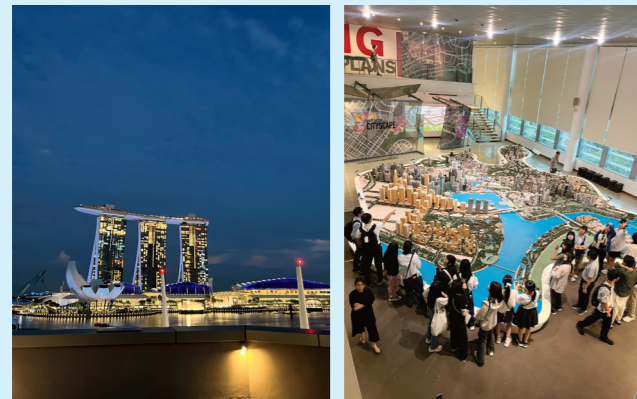


## in カナダ

- 日 程 2024年6月30日(日)～7月5日(金) 4泊6日  
 集合 エアカナダ(AC)利用者 14:30(成田空港第一ターミナル 南ウイング)  
 日本航空(JAL)利用者 16:00(成田空港第二ターミナル 北国体カウンター)  
 エアカナダ(AC)利用者 7/5 14:50(成田第一ターミナル)  
 日本航空(JAL)利用者 7/5 16:30(成田第二ターミナル)
- 行 程 1日目 バンクーバー市内観光、UBC入寮  
 2日目 UBCプログラム  
 3日目 カヌー、国境移動体験など  
 4日目 スタンレーパーク、ロブソン通り 研修  
 5日目 帰国

### ■生徒の感想

「空が高い」それがカナダに到着した時の一番最初の感想だった。気温も過ごしやすく気持ちよかった。空港についてから乗ったバスの中から見える景色は何もかもが日本と違っていった。電線とつながっているバス、白と赤の信号機、大きな軒下がたくさん並び、青々と茂っている街路樹それが自分にとってすごく新鮮でわくわくした。UBCでは、一日中パディと一緒に過ごした。自分の伝えたいことを英語で話すのはすごく難しかったし、会話を続けるのも難しかった。けれど、違う言語を話す人々ともっとたくさん話せるようになったら楽しいと思ったし、もっとたくさん英語の勉強をしようと思った。公園やカヤック、吊り橋では、カナダのたくさんの自然を感じることが出来、日系プレイスではどのように日本人が受け入れられてきたのかが分かった。ロブソン通りではカナダの街並みを感じることが出来た。私は、これで三回目の海外旅行だったが、これまでは家族に連れられて行く感じの旅行だったが今回は自分たちで考え、行動した皆さんの事を感じ取り、良い人生経験が得られたと思います。カナダに行かせてくれた両親には感謝しかありません。将来、自分でもっと英語を勉強してカナダに再び行けたらいいなと思っています。





# 中2 宿泊研修

## in 奈良・京都

日程：2024年10月30日(水)～11月1日(金) 2泊3日

<行程>

- 1日目：法隆寺・薬師寺
- 2日目：奈良・京都班別フィールドワーク
- 3日目：京都班別自主研修

事前事後学習：「奈良京都のTV番組を作ろう！」



## ■ 中等部 ■

日時：2024年6月1日(土)

晴天に恵まれる中、中等部のスポーツ大会『SSF (サクラスポーツフェスティバル)』が開催されました。今年も実行委員が中心となり、企画から運営まで生徒主体で行いました。事前に3年生の実行委員が同じグループの中学1年生のホームルームに参加し、競技の説明や作戦の伝授を行うなど、縦割りの絆も深まり、応援にも熱が入りました。

栄えある優勝はA組連合でした。

今年も先輩たちが築いてきた伝統を継承しながら、進化を感じる素晴らしいSSFになったと思います。



## ■ 高校 ■

日時：2024年5月24日(金)・25日(土)

初めてのクラスマッチとなる一年生、中心学年となる二年生、そして高校生活最後のクラスマッチに臨む三年生、チームメイトに熱い声援を送りながら、どの競技も白熱したゲーム展開で、手に汗握る攻防を繰り返していました。クラスの団結力も大いに高まったようです。また、クラスマッチに欠かすことのできないTシャツコンクールでは、今年もユニークなデザインと、工夫を凝らしたPRパフォーマンスに、大盛り上がりを見せました。



## ■ 高校 ■

### ■ OBOG キャリア講演会 (高1)

2024年9月7日(土)

#### 生徒の感想

私は研究職になりたいなと思ってたのでとても参考になる、貴重な時間でした。研究職になるにはめちゃくちゃ時間が掛かるというのと、好きで沢山疑問が浮かんでくるような分野じゃないと続けていくのが難しいだろうなと思いました。ただ卓球部のOBの先輩から研究職に進もうと思って博士課程を取ろうとしたらすると、他の職業を考えるのは難しくなると言われていたので、お話を聞いて少し安心しました。

大学と大学院の違いについて、具体的なイメージがなかったけれど話を聞いて、大学はすでに人が知っていることを勉強する場所で大学院はまだ誰も知らないことを探求するという研修のやり方を学ぶ場所であるということを知ることが出来た。そして、研究には1つの視点だけでなく、大きな視点を忘れないことが大切であるということを知った。勉強ができること=研究能力があるのではなく、研究には人と違ったことをするという個性が大切であると知り、研究に対して今までかたいイメージがあっあまり興味を持っていなかったが、少し興味を持つことが出来た。

### ■ 校外学習：大学巡り (高1)

2024年10月31日(木)

集合：8:30～9:00 解散：16:00～17:00  
「大学・学部・研究室を知り、進路選択に活かす」「志をともにする仲間をつくる」ことを目的として実施



OBOGキャリア講演会



大学巡り

### ■ 宿泊研修 (高1) 2024年4月24日(水)～25日(木)

#### 生徒の感想

今回の宿泊研修ではたくさん思い出に残ることがありました。まず、飯盒炊爨です。班は男女混合班で、話したことのない人もいましたが、全員でコミュニケーションを取りながら、協力してカレーを作ることができました。そして、クラスレクです。小さい頃の写真が誰かを当てるクイズと飲み物ソムリエをやりました。クイズは誰が誰なのか分からなかったのが、当てている人がなぜわかるのか不思議でした。また、ソムリエでは3種類の水やぶどうジュースで正解している人もいて、見ただけでも面白かった。最後にアドベンチャーゲームです。アドベンチャーゲームは地図を見ながら色々な場所を回ります。班員皆でコミュニケーションを取り、協力し合うことができました。この宿泊研修では色々な経験をする事ができました。

### ■ キャリア授業 (高1) 2024年7月6日(土)

#### 生徒の感想

自分の興味のある分野について設備が整った環境で長い時間をかけて研究して、その成果に応じてお金をもらうという仕事はすごいロマンがあるなと思いました。また大学院はまだ誰もやったことのない新たな知の開拓をするところだと言って少し興味がわきました。私はいろんな人と話してみたいなと思っていたので、研究を通して世界とつながるというのがとても楽しそうだなと思いました。私も感性と情熱と支えてくれる人の感謝を忘れずに勉強に励みたいです。

講義で話されていた職業の内容はandroidの文字入力より素早く文字を打てるようにするプログラムを作る仕事だった。このソフトウェアエンジニアはミーティングや日常会話で英語を使うことがあるため英語力を高める必要があると思った。使う英語はビジネス英語が多いことが分かった。自分の能力を高めるほか自分のなりたい職業になるためには、様々な経験を積むことが大切だと教わった。

八木菜々子さんは日本電気株式会社で働かれているときいて、最初は電機系のお仕事だと持っていました。宇宙開発に携わる仕事をしていって聞くと、宇宙は身近には感じられないものでそんな大きな仕事にかかわっていらつやると思うと、とても驚きました。そして大八木先生からは苦手なことは後回しにはしないこと、人前で話す力は将来になってとても大切になってくるということを知りました。それによって、私も将来について生かしていけるような能力を培っていきたくて思いました。



宿泊研修(高1)

## ■ 中等部 ■

■ 10月  
漢字コンクール  
中3 総合学習 味噌づくり  
中1 校外学習 鎌倉

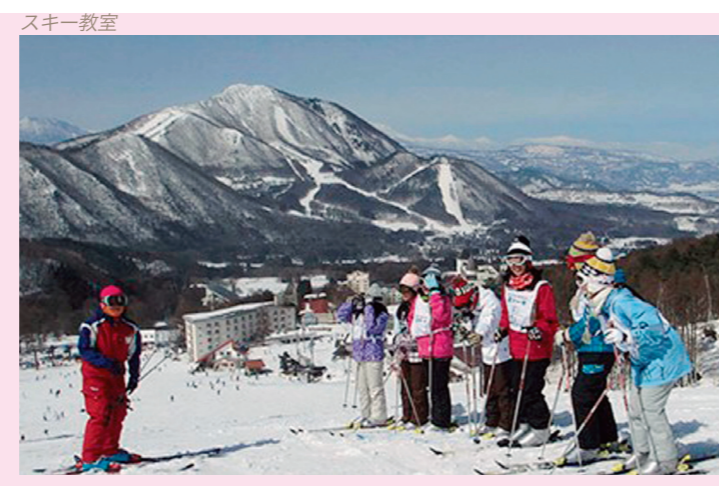
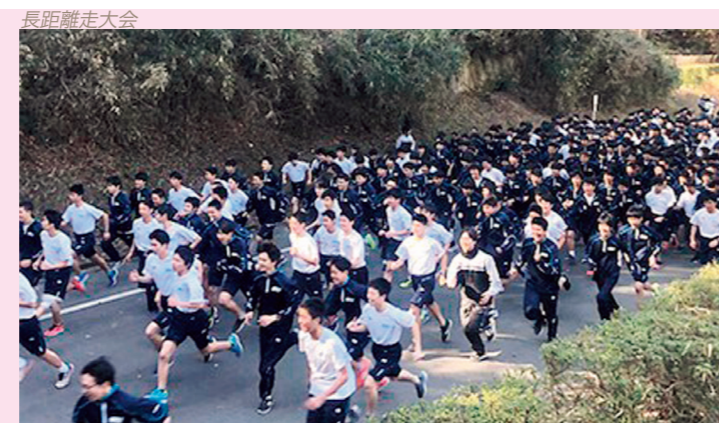
■ 11月  
よさこい発表  
国語科文学散歩(希望者)  
個人面談週間  
合唱コンクール

■ 12月  
中1 進化生物学研究所見学  
中2 総合学習 お米の科学  
GTEC

■ 1月  
スプリングコンテスト  
計算オリンピック  
中2・3 模試  
中1 芸能鑑賞(寄席) & 東京散策

■ 2月  
長距離走大会

■ 3月  
中1 スキー教室(上越)  
中3 課題研究発表  
修了式・離任式  
卒業式



■ 4月  
入学式  
始業式  
スプリングコンテスト  
避難訓練・対面式  
クラブ紹介  
学力推移調査  
オリエンテーション  
生徒面談週間  
健康診断  
中1 宿泊研修(河口湖)  
保護者会  
生徒会選挙  
国語科文学散歩(希望者)

■ 5月  
中3 総合学習 味噌づくり  
中1 総合学習 稲作 田植え(田奈)

■ 6月  
Sakura Sports Festival  
中3 芸能鑑賞(能・狂言)  
漢字コンクール

■ 7月  
中2 イングリッシュキャンプ  
中1 総合学習 稲作 除草  
中2 総合学習 お米の科学  
中1 防災教室  
English On Stage (スピーチコンテスト)  
夏期講習Ⅰ、Ⅱ(希望者)

■ 8月  
夏期講習Ⅲ(希望者)  
中1 イングリッシュキャンプ

■ 9月  
始業式・防災訓練  
スプリングコンテスト  
計算オリンピック  
学力推移調査  
中1 総合学習 稲作 稲刈り  
中3 修学旅行  
桜花祭

## ■ 中等部 ■

### ■ 芸能鑑賞 (中1)

◆ 2025年1月24日(水) 浅草演芸ホール  
 寄席の後は、浅草や上野、東京スカイツリー周辺をフィールドに班別研修を行いました。

### ■ 歌舞伎鑑賞教室(中2)

◆ 2025年1月12日(水) 国立劇場  
 国立劇場にて『双蝶々曲輪日記-引窓-』を鑑賞しました。

### ■ 歌舞伎鑑賞教室(中3)

◆ 2024年6月11日(火) 国立劇場  
 国立劇場にて『日本振袖始 ~八岐大蛇と素戔嗚尊~』を鑑賞しました。



芸能鑑賞教室(中1)



歌舞伎鑑賞教室(中2)



歌舞伎鑑賞教室(中3)



高1ミュージカル『美女と野獣』

## ■ 高校 ■

### ■ ミュージカル『美女と野獣』(高1)

◆ 2025年1月17日(金) 舞浜アンフィシアター  
 生徒の感想  
 今回の劇団四季の芸能鑑賞では、歌声の綺麗さや、光や音を使った様々な演出に驚きました。特に最初のベルの父親が捕らえられるシーンでは、絶望や恐怖の心情が暗めの光や雷の大きな音などによって表現されており、凄まじい迫力と臨場感を感じることができました。また、とくにすごいと思ったのは、野獣の住む城の中の場面とベルが住む町との情景の切り替わりが全く違和感がなく、スムーズだったことです。劇を見る前までは様々な情景が移り変わる物語を劇でどう表現するのか疑問に思っていましたが、舞台演出の技術の最新さにとても驚きました。そんな美女と野獣の劇鑑賞の中で心に残っているシーンが一つあります。それはベルが野獣に本を読んであげるシーンです。このシーンは二人がお互いに心を開き、時かれあっているのが明確にわかるシーンで、感動しました。しかし、ここで一つ疑問に思ったことがあります。それは、野獣は劇中で「字の読み書きができない」と言っていました。もともと王子だった人で次期王様だった人がなぜ読み書きができないのかということです。これに対して、僕は王子が野獣になるにつれ人間の象徴である「文字の読み書き」という能力が失われてしまったのではないかと考えました。このように、劇をただ見るのではなく、その裏にある設定を考えながら鑑賞できたことで、今回の劇団四季の芸術鑑賞はとても楽しかったです。これからの芸能鑑賞でも、受動的ではなく能動的な鑑賞の仕方を意識したいと思います。

### ■ ミュージカル『ハリー・ポッターと呪いの子』(高2)

◆ 2024年11月21日(木) TBS赤坂ACTシアター

### ■ ミュージカル『天使にラブ・ソングを…(シスター・アクト)』(高3)

◆ 2024年7月10日(水) 東急シアターオーブ



高2ミュージカル『ハリー・ポッターと呪いの子』



高3 ミュージカル『天使にラブソングを(シスター・アクト)』

## 令和6年度 大会成績

### ■ 中等部

#### 柔道部

東京都新人柔道大会 女子団体 ベスト16

男子団体 ベスト16

東京都中体連夏季柔道大会 男子団体ベスト16

#### チアリーディング部

USA-Japan チアリーディング&ダンス学生選手権大会 1位

USA-Japan Regionals 神奈川大会 1位

USA-Japan School & College Nationals 1位

#### 囲碁将棋同好会

第28回東京都中学校冬季囲碁大会 準優勝

### ■ 高等学校

#### 男子バスケットボール部

インターハイ予選ベスト32

#### 女子バレーボール部

新人選手権大会都ベスト32

#### 女子バスケットボール部

東京都新人大会ベスト32

#### 女子ハンドボール部

インターハイ予選ベスト16

#### ラグビー部

令和6年度新人大会東京都ベスト16

#### チアリーディング部

USA-Japan チアリーディング&ダンス学生選手権大会 2位

USA-Japan Regionals 神奈川大会 4位

USA-Japan School & College Nationals 4位

#### 馬術部

第75回関東高等学校馬術トーナメント戦 団体準優勝

第67回関東高等学校馬術選手権大会 坂井葉月 個人7位

第58回全日本高等学校馬術競技大会(インターハイ) 出場

第60回関東高等学校自馬競技大会

中田仁菜 第2競技馬場馬術3課目A 2022 優勝

第5競技パーティカル70 優勝

池本かれん 第1競技馬場馬術2課目B 2022 2位

越賀桜子 第1競技馬場馬術2課目B 2022 3位

## 《クラブ活動》

本校のクラブ活動は「文武両道の実現」を目標に活動を行っています。

クラブ活動は原則として週5日以内としています。

### 中等部

#### 運動部

陸上競技部

軟式野球部

男子バスケットボール部

女子バレーボール部

女子バスケットボール部

女子ハンドボール部

柔道部

剣道部

男子テニス部

女子テニス部

卓球部

サッカー部

ラグビー部

チアリーディング部

#### 文化部

演劇部

音楽部

(アンサンブル班)

吹奏楽部

合唱部

物理部

生物部

化学部

美術部

写真部

文芸部

茶道部

華道部

書道部

#### 同好会

英語

鉄道研究

クイズ研究

将棋囲碁

### 高等学校

#### 運動部

陸上競技部

硬式野球部

男子バレーボール部

男子バスケットボール部

男子ハンドボール部

女子バレーボール部

女子バスケットボール部

女子ハンドボール部

柔道部

剣道部

男子テニス部

女子テニス部

卓球部

サッカー部

ラグビー部

馬術部

チアリーディング部

ダンス部

#### 文化部

演劇部

吹奏楽部

合唱部

音楽部

(アンサンブル班)

(軽音班)

物理部

生物部

化学部

美術部

写真部

文芸部

茶道部

華道部

書道部

#### 同好会

英語

鉄道研究

クイズ研究

将棋囲碁

中学生だけで活動しているクラブと、中学生と高校生が一緒に活動しているクラブがあります。

## 一年の流れ

<p><b>四月</b> 入学式 クラブ紹介 各部の代表者が新1年生に対して、部の紹介と勧誘を行う。 中・高生徒会選挙 立候補者による演説と応援者による演説。全生徒投票。投票の集計。 研修会 生徒会総務で行う。桜花祭を中心に話し合い、交流を深める。</p>	<p><b>八月</b> 桜花祭準備 桜花祭実行委員と予定を組み、作業する。</p>
<p><b>五月</b> 中・高生徒総会 各委員会の活動方針と生徒会総務の方針などを発表する。予算の承認。 クラスマッチ（高校） 準備から当日の運営まで行う。</p>	<p><b>九月</b> 桜花祭 当日までの準備から当日の運営までを行う。</p>
<p><b>六月</b> SSF (SAKURA Sports Festival) 準備から当日の運営まで行う。 (中等部) 桜花祭準備 研修会で決定した企画などを各クラスやクラブに発表する。</p>	<p><b>十一月</b> 中・高生徒総会 予算支出の中間報告。生徒会総務の現状報告。今後の活動予定。合唱コンクール(中等部)</p>
<p><b>七月</b> 壮行会 関東大会やインターハイに出場する。部を全校生徒で応援する会を開く。</p>	<p><b>十二月</b> 卒業式 生徒代表として出席。 機関紙「桜花」発行。</p>
<p><b>三月</b> 卒業式 生徒代表として出席。 機関紙「桜花」発行。</p>	

## 生徒会活動

●生徒がさまざまな活動を通して自主的・自立的な精神を身につけるように指導を行っています。

### 中等部・高校 生徒会組織

中等部：生徒会総務役員[会長(1名) 副会長(1~2名) 書記(1~2名) 会計(1~2名)]

※任期は1年とし、4月に改選します。

中央委員会(4月に各クラスから2名選出)

常任委員会[校紀・図書・放送・保健・新聞・福祉](4月に各クラスから選出)クラブ運営委員会

※行事に関する実行委員

[SSF実行委員・桜花祭実行委員・合唱コンクール実行委員]

高校：生徒会総務役員[会長(1名) 副会長(1~2名) 書記(1~2名) 会計(1~2名)]

※任期は1年とし、4月に改選します。

中央委員会(4月に各クラスから1名選出)

常任委員会[校紀・図書・放送・保健・新聞](4月に各クラスから選出)クラブ運営委員会

※その他委員[クラスマッチ実行委員・桜花祭実行委員・第八支部委員]

## 委員会活動

委員会名	活動内容
中央委員会	生徒会予算の承認や生徒会総務より付議された事項の決議、また桜花祭などの生徒会行事に関する各クラスへの連絡や協力を行います。クラス代表として生徒会とのパイプ役になっています。
保健委員会	生徒健康診断の補助、校内美化徹底週間の確認検査、手洗場の石鹸取り替えを行っています。本校はゴミの分別、校内美化活動に重点をおいています。個人個人の日頃のゴミの減量化や分別の意識が「校内美化、環境を大切に作る心」につながっています。
図書委員会	図書館の本の貸出・返却の管理、本の整理、広報誌の発行。桜花祭では、テーマ発表や古本市を出店します。
新聞委員会	年に3回新聞を発行し、農大一高一中の様々な話題を皆さんに提供しています。
放送委員会	クラスマッチやSSF、桜花祭での放送全般に携わっています。また、2013年度から昼の放送が始まり、週に2日みなさんからのリクエストをもとに音楽の放送を行っています。
校紀委員会	自転車の整理、桜花祭等での警備、風紀の維持。学校の規律を守る大事な仕事です。朝のあいさつ運動を定期的に行っています。
福祉委員会(中等部のみ)	地域行事への参加(子供大会)等を行っています。
クラブ運営委員会	各クラブの代表者が定期的集まり、クラブ活動における問題点・改善点等を話し合います。また、部室の点検も定期的に行います。
八支部委員会(高校のみ)	第八学区(世田谷区・町田市)にある私立高校が集まり、色々な催しを行っています。催しには、子供たちのために開く自治祭、老人ホーム・幼稚園などを訪ねる施設訪問、多摩川清掃、緑の羽根募金があり、いろいろな体験をします。月一回の定例会で話し合いをするのが主な活動内容です。



## 答 辞

やわらかな日差しが降り注ぎ、春の訪れを感じることができるといふ今日、私たち第七十三期生、渡邊学年は東京農業大学第一高等学校を卒業します。私たちが三四人名の卒業式に御列席いただき、ありがとうございます。今日の門出を迎えることができたのも、幸田校長先生をはじめとするすべての方々のおかげです。心より感謝申し上げます。

私の名前は「律」と言います。「律」という名前には、「人を繋ぐオーケストラの指揮者のように、皆のハーモニーを合わせる人になってほしい」という意味が込められています。偶然にも、私が在籍するこの渡邊学年の学年スローガンである「輪」には、「歯車はひとつでは動かないように、一人で進むのではなく、皆で手と手を取り合って輪を作り協力していく」という思いが込められています。「輪」というスローガンのもと、私を含む学年全員はこの三年間、さまざまな場面で「つながり」を大切にしてきました。

一年次、これから始まる三年間に胸を膨らませながら教室に向かいました。「輪」につながる最初の一步でした。私が所属した十組では、「文化祭で演劇をする」という使命が課されました。右も左も分からない私たちは、ただがむしゃらに一九となり練習をしました。途中で意見の食い違いや練習の進行度合いで揉めたことも多々ありました。それでもこの一連の出来事を通して私たちの「クラス」の繋がりは確実に深まりました。学年全員がこのような「輪」を経験したのは、おそらく宿泊研修でしょう。渡邊学年のみなさん、一貫生と高入生の混合班が組まれたことをおぼえていますか。両者が繋がりを持ったのはこの時が初めてでした。この交流を通して一貫生、高入生の境界を越え、仲を深めました。

二年次、本校初の海外修学旅行にてシンガポール、マレーシアへ赴きました。私は総括として、一貫生や高入生だけでなく、男女の境界すら越えて六九名の参加者全員が農大高生として一つになれるよう努めました。旅行会社の方との打ち合わせに出席した際、参加者同士の絆を深めていけるように、行程や内容の確認をしました。実際に現地の方との交流やマレーシアでの半日ホームステイを通して、今まで教科書でしか見てこなかったムスリム固有の慣習や価値観の多様性を目の当たりにしました。これまでは「異なる国で育っている人」という認識でしかなく、まさかその人たちと友人になれるとは思っていませんでした。

しかし、実際には遠く離れた、暑く、突然スコールが起こる、あの地でも、私たちと同じようにY O A S O B Iの曲を聴き、恋の話で盛り上がり、そこにいたのは私たちと変わらないティーンエイジャーだったのです。宗教色の強いマレーシアで暮らす同年代の学生たちとの出会いは、私にとって「異文化交流」ではなく、日本で友人たちと会話することと何も変わらないものでした。些細な違いを「差」と見なさず、「新たな見識」として自分の中に吸収することができました。宗教や生まれてきた環境の違いを越え、自分の「輪」を広げることができた瞬間でした。沖縄での修学旅行も同じように、「輪」を広げることができたと聞いています。

そして三年次、最後のクラスマッチや桜花祭はもちろんですが、一番「輪」を感じたのは「受験」です。進級時に「受験は団体戦だ」と言われたときは半信半疑でした。しかし今、その意味が分かったように思います。はじめは「受験」とは自分だけの頑張りで合格を掴むものだと考えていました。ですが、今は、相手の努力を応援したり、苦しさを分かち合ったりすることも、ともに乗り越えることができたと感じています。一人では乗り越えることが難しくても皆で協力することで目標を達成することができるといえます。これこそ学年スローガンである「輪」です。

私はこの三年間、自分の限界を作らず、何にでも挑戦してきました。劇や修学旅行の総括、受験など、すべてにおいてです。その結果、学んだことは「自分で自分の邪魔さえしなければなんでもできる」ということです。急激にグローバル化が進む現代においては、今まで以上に人とのつながることが重要になってきており、私たちは今後人生の中で多種多様な価値観と出会うことでしょう。そのときに既存の価値観を鵜呑みにするのではなく、新たな自分になることを恐れずこの時代において共に在ろうとすることが大切です。これから私たちが生きていく世界は、受験のように決まった答えがあるわけではありません。では、これから先の私たち一人ひとりのスローガンは何なのでしょう。「輪」も答えの一つだと思います。きっと他の答えもあるでしょう。私たち七十三期生は農大高で多くの繋がりを手にしてきました。その繋がりをつくることでできたのは、多くの方々の支えがあったからに他なりません。「輪」という道を教えて下さった渡邊先生をはじめとする学年団の先生方、また学校職員の皆様、そして何より、一番近くで私たちの扉を開け、一步を踏み出させていきます。すべてを縁だと思いい、さらに美しいハーモニーを奏でられる人になります。

農大高の益々の発展を心より祈念し答辞といたします。

令和七年三月一日

第七十三期 卒業生代表 高木 律

2025年11月 発行

---

軌跡 2024年の歩み VOL.21

---

 東京農業大学第一高等学校  東京農業大学第一高等学校中等部

〒156-0053 東京都世田谷区桜 3-33-1  
Tel: 03-3425-4481 (代) Fax: 03-3420-7199  
Homepage: <http://www.nodai-1-h.ed.jp>